

推 問

学校推薦型選抜（商学部）

令和 7 年度

注 意 事 項

1. 「解答はじめ」というまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 問題は1冊（本文5ページ）、解答用紙、下書用紙はともに2枚である。
3. 全部の解答用紙に受験番号を書くこと。受験番号は、次の要領で明確に記入すること。

(例) 受験番号 80001 番の場合 →

8	0	0	0	1
---	---	---	---	---

4. 解答は解答用紙の所定の位置に横書きで書くこと。他の所に書くと無効になることがある。

また、字数などの指示がある場合は、その指示に従って書くこと。なお、字数制限がある場合、算用数字及びアルファベットに限り、1マスに2文字入れることができる。それ以外の句読点や問題番号には1マスを使用すること。問題番号も字数制限の中に含む。ただし、例えば「問1」ならば「1」とのみ書いても構わない。

(例) 「問1」の場合 →

5					
1

5. 書き損じても、代替りの用紙は交付しない。
6. 試験終了後、問題冊子と下書用紙は持ち帰ること。

令和7年度 一橋大学商学部学校推薦型選抜試験問題

【推薦小論文】

以下の課題文は、M. チクセントミハイ著、今村浩明訳『フロー体験 喜びの現象学』(1996年、世界思想社)からの抜粋である(ただし、問題作成上、節のタイトルや文章の一部を改変・省略し、注を加えている)。この文章を読んで、次の3つの設問に答えなさい。

設問(1) 下線部①「フロー体験」とは何か。150字以内で説明しなさい。

設問(2) 下線部②「しだいに複雑になることによって自己は成長するといえるだろう」について、フロー体験が自己の成長を促すメカニズムを、自己の成長とは何かを明確にしたうえで、300字以内で説明しなさい。

設問(3) 下線部③「生活の質を改善するための主な戦略は二つある」について、二つの戦略にもとづいて幸福を得る方法を500字以内で説明しなさい。ただし、快樂と楽しさの違いについて言及すること。

【課題文】

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開
していません。

著作権保護の観点から、公開
していません。

著作権保護の観点から、公開
していません。

著作権保護の観点から、公開 していません。

※1 心理的エネルギー：「注意」と同義。人は心理的エネルギーをどのように投射するかによって自分自身を作り上げる。我々の統制下にある、思うように扱うことができるエネルギーであり、我々の経験の質を向上させるための、最も重要な道具である。

※2 ロッククライマー：調査に協力した被験者の一人で、岩登りを趣味とする人。

推 問

学校推薦型選抜（経済学部）

令和 7 年度

注 意 事 項

1. 「解答はじめ」というまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 問題は1冊（本文7ページ）、解答用紙、下書用紙はともに3枚である。
3. 全部の解答用紙に受験番号を書くこと。受験番号は、次の要領で明確に記入すること。

（例）受験番号 80001 番の場合 →

8	0	0	0	1
---	---	---	---	---

4. 解答は解答用紙の所定の位置に横書きで書くこと。他の所に書くと無効になることがある。
また、字数などの指示がある場合は、その指示に従って書くこと。なお、字数制限がある場合、算用数字及びアルファベットに限り、1マスに2文字入れることができる。それ以外の句読点や問題番号には1マスを使用すること。問題番号も字数制限の中に含む。ただし、例えば「問1」ならば「1」とのみ書いても構わない。

（例）「問1」の場合 →

5					
1

5. 書き損じても、代わりの用紙は交付しない。
6. 試験終了後、問題冊子と下書用紙は持ち帰ること。

令和7（2025）年度一橋大学 学校推薦型選抜 経済学部 小論文

以下の文章と図表を参照して、以下の設問に答えなさい。

問1 購買力平価説と金利平価説とは何か。文章に即して400字以内で答えなさい。

問2 ビッグマックの価格をみる限り、図表1にあるように購買力平価説が成り立っていないように見受けられる。その要因として、どのようなものが考えられるか。200字以内で説明しなさい。

問3 図表3の実質実効為替レートは円安になっている一方で、図表4の日本の貿易収支は赤字になっている。この両者を結び付けると、日本の輸出競争力はどうなっているのか。あなたの考えを400字以内で述べなさい。

問4 金利平価説に従うと、今後、円ドルレートはどのような推移を辿るのだろうか。あなたの考えを400字以内で述べなさい。

齊藤誠 (2021) 『教養としてのグローバル経済』 (有斐閣) 抜粋

(出題のために改変した箇所がある)

著作権保護の観点から、公開
していません。

著作権保護の観点から、公開
していません。

著作権保護の観点から、公開
していません。

著作権保護の観点から、公開
していません。

図表1：アメリカと日本のビッグマックの価格から見た円ドルレート

著作権保護の観点から、公開
していません。

図表2：円ドルレートとアメリカ・日本の長期国債の金利格差

著作権保護の観点から、公開
していません。

図表3：名目実効為替レートと実質実効為替レート

著作権保護の観点から、公開
していません。

図表4：貿易収支

著作権保護の観点から、公開
していません。

推 問

学校推薦型選抜（法学部）

令和 7 年度

注 意 事 項

1. 「解答はじめ」というまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 問題は1冊（本文6ページ）、解答用紙、下書用紙はともに2枚である。
3. 全部の解答用紙に受験番号を書くこと。受験番号は、次の要領で明確に記入すること。

(例) 受験番号 80001 番の場合 →

8	0	0	0	0	1
---	---	---	---	---	---

4. 解答は解答用紙の所定の位置に横書きで書くこと。他の所に書くと無効になることがある。

また、字数などの指示がある場合は、その指示に従って書くこと。なお、字数制限がある場合、算用数字及びアルファベットに限り、1マスに2文字入れることができる。それ以外の句読点や問題番号には1マスを使用すること。問題番号も字数制限の中を含む。ただし、例えば「問1」ならば「1」とのみ書いても構わない。

(例) 「問1」の場合 →

						5
1

5. 書き損じても、代わりの用紙は交付しない。
6. 試験終了後、問題冊子と下書用紙は持ち帰ること。

【推薦小論文】

以下の課題文は、森悠一郎「ベーシック・インカムを導入すべきか？」（瀧川裕英 編『もっと問いかける法哲学』（法律文化社，2024年）第7章）からの抜粋である（ただし、問題作成の都合上、一部修正した。）この文章を読んで、次の2つの設問に答えなさい。

設問1 下線部1について、ベーシック・インカムが「こうした状況において、私たちの生活をより確かに保障してくれるかもしれない」のは、なぜか。課題文全体の趣旨に照らして、400字以内で述べなさい。

設問2 下線部2について「ベーシック・インカムを導入すべきか」という問いに対し、課題文全体の趣旨、著者の問題意識と課題文末尾の「ヒント」に照らして、あなた自身の考えを、800字以内で述べなさい。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開
していません。

著作権保護の観点から、公開
していません。

著作権保護の観点から、公開
していません。

著作権保護の観点から、公開
していません。

著作権保護の観点から、公開
していません。

推 問

学校推薦型選抜（社会学部）

令和 7 年度

注 意 事 項

1. 「解答はじめ」というまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 問題は1冊（本文1ページ）、解答用紙、下書用紙はともに2枚である。
3. 全部の解答用紙に受験番号を書くこと。受験番号は、次の要領で明確に記入すること。

(例) 受験番号 80001 番の場合 →

8	0	0	0	0	1
---	---	---	---	---	---

4. 解答は解答用紙の所定の位置に横書きで書くこと。他の所に書くと無効になることがある。
また、字数などの指示がある場合は、その指示に従って書くこと。なお、字数制限がある場合、算用数字及びアルファベットに限り、1マスに2文字入れることができる。それ以外の句読点や問題番号には1マスを使用すること。問題番号も字数制限の中を含む。ただし、例えば「問1」ならば「1」とのみ書いても構わない。

(例) 「問1」の場合 →

5					
1

5. 書き損じても、代わりの用紙は交付しない。
6. 試験終了後、問題冊子と下書用紙は持ち帰ること。

令和7年度 一橋大学社会学部 学校推薦型選抜試験問題

【小論文】

設問

努力を重視することのメリットとデメリットについて、具体例をあげながら論じなさい。(1200字以内)

推 問

学校推薦型選抜（ソーシャル・データサイエンス学部）

令和 7 年 度

注 意 事 項

1. 「解答はじめ」というまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 問題は1冊（本文2ページ）、解答用紙、下書用紙はともに1枚である。
3. 全部の解答用紙に受験番号を書くこと。受験番号は、次の要領で明確に記入すること。

(例) 受験番号 80001 番の場合 →

8	0	0	0	0	1
---	---	---	---	---	---

4. 解答は解答用紙の所定の位置に横書きで書くこと。他の所に書くと無効になることがある。
また、字数などの指示がある場合は、その指示に従って書くこと。なお、字数制限がある場合、算用数字及びアルファベットに限り、1マスに2文字入れることができる。それ以外の句読点や問題番号には1マスを使用すること。問題番号も字数制限の中に含む。ただし、例えば「問1」ならば「1」とのみ書いても構わない。

(例) 「問1」の場合 →

1

5. 書き損じても、代わりの用紙は交付しない。
6. 試験終了後、問題冊子と下書用紙は持ち帰ること。

令和7年度 一橋大学ソーシャル・データサイエンス学部
学校推薦型選抜試験問題

Hoff and Pandey (2006, A.E.R, Papers and Proceedings) は、カースト制度の差別について考察するために、以下のような実験を行った。

被験者：学歴6年目と7年目（日本の小学校6年生と中学校1年生に対応）の男性の学生（身分の最も高いカーストに属する学生と最も低いカーストに属する学生のみ）。被験者はランダム（無作為）に以下の3つの実験に割り当てられ、それぞれの実験では被験者は6人のグループに分けられ、一人ひとりが15の課題を解くように指示された。

実験1：グループの構成員は両カースト出身者を含むが、構成員のカーストは知らされていない。

実験2：グループの構成員は両カースト出身者を含むが、グループの構成員の一人ひとりのカーストが知らされている。

実験3：グループの構成員は全員同じカーストに属する。グループの構成員のカーストが知らされる。

FIGURE 1 が実験の結果を示している。X軸は実験1 (Anonymous), 実験2 (Caste Revealed), 実験3 (Caste revealed-single case)を示し、Y軸はそれぞれの実験におけるカーストごと (high caste, low caste)の学生一人あたりの正解であった問題の数を示している。

この実験の結果から、カーストによる差別に関して何を学ぶことができるか、説明しなさい。

著作権保護の観点から、公開
していません。

FIGURE 1. AVERAGE NUMBER OF MAZES SOLVED, ROUND 2